



平成 23 年 6 月 10 日

各 位

会 社 名 戸田建設株式会社  
代表者名 代表取締役社長 井上 舜三  
(コード：1860、東証・大証各第一部)  
問合せ先 執行役員総務部長 大友 敏弘  
(TEL . 03 - 3535 - 1357)

(訂正)「平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 23 年 5 月 13 日に公表しました「平成 23 年 3 月期 決算短信」に一部訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおり訂正し、お知らせいたします。

なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

【訂正箇所】

添付資料 2 ページ

「1. 経営成績」 (1) 経営成績に関する分析

添付資料 22 ~ 23 ページ

「4. 連結財務諸表」 (7) 連結財務諸表に関する注記事項

【セグメント情報】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目金額に関する情報

[ 訂正前 ]

( 建築事業 )

売上高は3,595億円、セグメント利益は121億円となった。

当社個別の建設受注高については、民間工事（国内）、官庁工事（国内）ともに増加し、全体（海外含む）では3,623億円と前期比11.0%増となった。

( 土木事業 )

売上高は842億円となり、セグメント損失は49百万円となった。

当社個別の建設受注高については、官庁工事（国内）が増加し、全体（海外含む）では822億円と前期比17.2%増となった。

( 不動産事業 )

売上高は137億円、セグメント利益は8億円となった。

( その他の事業 )

売上高は12億円、セグメント利益は81百万円となった。

[ 訂正後 ]

( 建築事業 )

売上高は3,595億円、セグメント利益は125億円となった。

当社個別の建設受注高については、民間工事（国内）、官庁工事（国内）ともに増加し、全体（海外含む）では3,623億円と前期比11.0%増となった。

( 土木事業 )

売上高は842億円となり、セグメント損失は7百万円となった。

当社個別の建設受注高については、官庁工事（国内）が増加し、全体（海外含む）では822億円と前期比17.2%増となった。

( 不動産事業 )

売上高は137億円、セグメント利益は18億円となった。

( その他の事業 )

売上高は12億円、セグメント利益は97百万円となった。

[訂正前]

前連結会計年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸 表計上額 (注)2
	建築事業	土木事業	不動産事業	その他 の事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	362,548	100,821	11,087	598	475,055	-	475,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,909	150	1,441	711	4,212	4,212	-
計	364,457	100,971	12,529	1,310	479,268	4,212	475,055
セグメント利益又は損失 ( )	<u>11,235</u>	<u>802</u>	<u>259</u>	<u>52</u>	<u>12,349</u>	<u>5,941</u>	6,408
その他の項目							
減価償却費	377	51	992	15	1,437	650	2,087
のれんの償却額	55	-	-	-	55	-	55

(注)1 セグメント利益の調整額 5,941 百万円には、セグメント間取引消去 94 百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 5,846 百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っている。

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸 表計上額 (注)2
	建築事業	土木事業	不動産事業	その他 の事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	356,780	<u>83,412</u>	12,299	540	452,762	-	452,762
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,722	1,142	1,426	714	6,006	6,006	-
計	359,502	84,284	13,726	1,255	458,768	6,006	452,762
セグメント利益又は損失 ( )	<u>12,178</u>	<u>49</u>	<u>891</u>	<u>81</u>	<u>13,101</u>	<u>7,096</u>	6,004
その他の項目							
減価償却費	340	42	945	16	1,344	672	2,016
のれんの償却額	55	-	-	-	55	-	55

(注)1 セグメント利益の調整額 7,096 百万円には、セグメント間取引消去 197 百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 6,899 百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っている。

[訂正後]

前連結会計年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸 表計上額 (注)2
	建築事業	土木事業	不動産事業	その他 の事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	362,548	100,821	11,087	598	475,055	-	475,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,909	150	1,441	711	4,212	4,212	-
計	364,457	100,971	12,529	1,310	479,268	4,212	475,055
セグメント利益又は損失 ( )	<u>11,300</u>	<u>853</u>	<u>1,564</u>	<u>68</u>	<u>13,786</u>	<u>7,378</u>	6,408
その他の項目							
減価償却費	377	51	992	15	1,437	650	2,087
のれんの償却額	55	-	-	-	55	-	55

(注)1 セグメント利益の調整額 7,378 百万円には、セグメント間取引消去 94 百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 7,283 百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っている。

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸 表計上額 (注)2
	建築事業	土木事業	不動産事業	その他 の事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	356,780	<u>83,142</u>	12,299	540	452,762	-	452,762
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,722	1,142	1,426	714	6,006	6,006	-
計	359,502	84,284	13,726	1,255	458,768	6,006	452,762
セグメント利益又は損失 ( )	<u>12,518</u>	<u>7</u>	<u>1,836</u>	<u>97</u>	<u>14,445</u>	<u>8,440</u>	6,004
その他の項目							
減価償却費	340	42	945	16	1,344	672	2,016
のれんの償却額	55	-	-	-	55	-	55

(注)1 セグメント利益の調整額 8,440 百万円には、セグメント間取引消去 197 百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 8,243 百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っている。